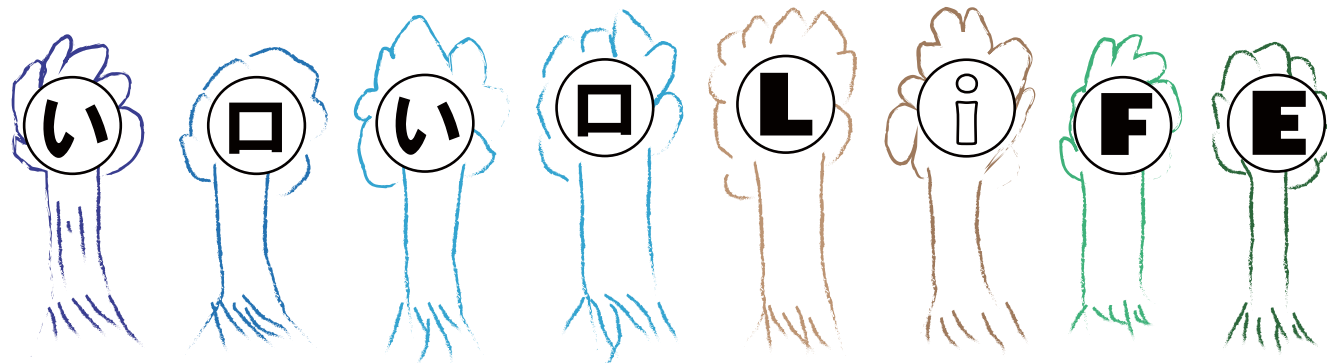




# 志木市精神保健福祉をすすめる会



第5号 2018年7月発行

## 定期総会報告

2018年度通常総会を5月20日（日）に志木事業所において開催しました。

今総会は特定非営利活動法人としては13回目、団体としては通算30回目の総会となりました。

例年総会と同日に地域の方たちにもお声かけさせていただき総会記念イベントを開催していましたが、今年度は団体活動開始から30年を記念し、秋に記念イベントを実施するため、総会のみで開催とさせて頂きました。

総会では正会員26名中21名の出席を頂き、2017年度事業報告と活動計算報告、役員改選についてご審議頂きました。

### 役員体制について

任期2020年5月31日まで

理事長 上田将史 副理事長 竹内善太

理事 赤松祐造、稲沢公一、小川憲司、登坂公則

監事 斎藤秀一、西出武史

（役員はすべて再任となりました。）

### 各事業所の課題・計画

#### 本部事業

#### 三十周年記念イベントの開催

- ・30年記念の講演会（座談会）等の開催準備
- ・法人の地域貢献への取り組み

地域の団体や個人とのつながりを大事にしながら地域貢献の取り組みを続けます。

#### 普及啓発活動

##### ①ニュースレターの発行

昨年度から発行しているニュースレターを継続して発行し、法人の活動や精神保健福祉に関する普及啓発に努めます。

##### ②ホームページやFacebookで情報発信

ホームページやFacebookなどを通じて、法人の活動などの広報活動を実施します。

#### 精神障害者及び家族への支援

##### ・家族交流会

基本的に隔月に開催を目指します。より良い会とするためアンケートの実施や専門家の講演なども企画していきます。

#### 相談支援センター あしすと

#### 基本方針

一人一人の困りごとに耳を傾け、生きにくさが生じている状況に着目し、相談支援を通じて人との繋がりが増え、その人の生きにくさが軽減し、笑顔が増えていくことを目的とします。

#### 重点課題

##### ①報酬改定に伴う対応

報酬改定に伴う、新たな計画相談支援の事務要領を把握し、適切な業務が行えるような運営を目指します。

##### ②相談支援専門員の育成

相談支援に従事できる相談支援専門員の育成





をすすめます。

### ③その他の活動計画

- ・計画相談支援のさらなる質の向上に努める
- ・地域相談支援事業所とのグループスーパービジョン等の実施
- ・地域移行支援が実施できる地域作りに努める
- ・朝霞保健所等関係機関と連携し、地域移行支援体制に向けての連携と実践が出来る体制を作る
- ・連携会議等から見えてくる地域課題解決のために関係機関への働きかけ等を積極的に行う
- ・地域ネットワークの有機的な構築
- ・志木市自立支援協議会及び志木市相談支援事業所連絡調整会議へ積極的に関わる

### 就労継続支援 B 型事業所 志木事業所

#### 基本方針

- ・利用者それぞれの目標や課題を理解し丁寧に関わる
- ・訓練の機会を保證できるように努め、生活が少しでも豊かになるよう支援する
- ・就職を希望する方が就職できるよう情報提供や訓練、実習の機会を提供し、安心して働ける環境を一緒に考え見つける

#### 工賃

可能な限り作業を提供し全体的な作業量の向上、支払い月額増加を目指します。短時間労働を希望する方、生活リズムの安定を志す方も多いので、無理のない働き方や過ごし方についても尊重しながら作業を提供します。

平成 29 年度達成工賃月額：17,834 円

平成 30 年度目標工賃月額：19,000 円

#### 就職活動

- ・求人情報、実習や各種訓練先情報を提供する
- ・実習、短期訓練を積極的に活用する
- ・地域の就労支援機関と連携し支援する
- ・今年度も 1 名以上の就職者輩出を目指す

### 就労移行支援事業所 傍楽舎

#### 目標就職者数 5 名

定員の半数である 5 名を目標とし、目標とする就職者輩出のため新規利用者獲得についても引き続き尽力します。

平成 29 年度実績 1 名

#### 目標職場定着率 75%以上

昨年度、就職者の職場定着率は 100%でした（目標 60%）。本年度の定着率は 75%を目標とし、本人が安心して働ける環境づくりに力を入れ支援を行っていきます。また、昨年の課題となった利用者への「アセスメント精度」を高めていくために研修や外部との関わりを増やしていきます。

#### 重点課題

- ・講座、プログラム見直し

定着支援について力を入れることは当然のことながら、傍楽舎の目標である社会生活力を身につけることにつながる講座・プログラムを提供できるよう内容の見直しに力を入れます。

#### 就労定着支援事業開設

法改正によって 2018 年 4 月より就労定着支援事業が位置づけられました。職場定着に向けてより力を入れていくため、就労定着支援事業の開設を目指します。

### 就労継続支援 B 型事業 傍楽舎 柏町

#### 重点課題

- ・工賃向上について

平成 29 年度の月額平均工賃は 7,087 円で、「時給が安い」という声が出る中でどれだけ多く工賃を支出できるかということは大きな課題です。それと同時に長時間働くことが難しい方たちの居場所を作ることも意識していきます。





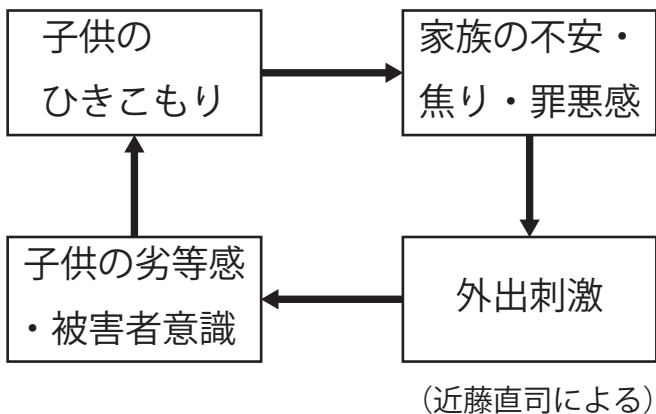
## 講演会 心の健康・健康な家族 後編

2月24日に東洋大学ライフデザイン学部教授白石先生にご講演いただき、前号では「心の健康」についてご紹介させていただきましたので、今回は「健康な家族」についてご紹介させていただきます。

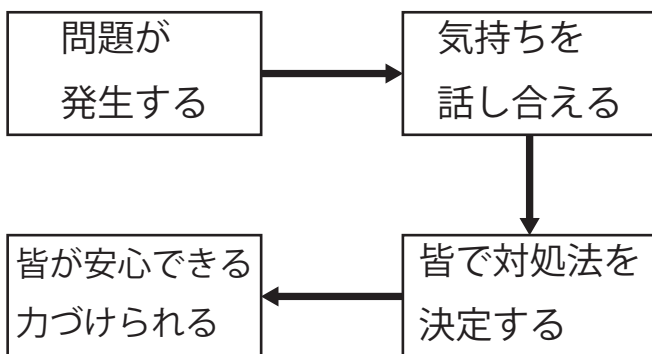
### 家族の実際の機能と生じうる問題

- 経済的機能 — 貧困
- 生殖機能 — 子を産めない状況、少子化
- 児の養育機能 — 子育て、虐待、ひきこもり
- 教育機能 — しつけや道德に関すること
- 療養、介護などへの扶助機能 — 老親や病気、障害をもつ人の介護
- 友 愛 — 夫婦の問題、DV
- 憩いの場 — 孤食、ゆとりのなさ

### 「指図」の悪循環



### 家族内問題解決の良循環



### 健康な家族のイメージ

- 仲が良い（特に夫婦間）
- 皆が何でも言い合える
- 意味ある時間が共有されている
- 各成人が個人として尊重されている
- 相互扶助の雰囲気がある
- 外部に対して開かれている

### 「親亡きあと」から「親あるうちの自立」へ

精神疾患をもつ人と家族にも、高齢化の問題は避けて通れません。自立の問題は、「親亡きあと」の問題ではなく、誰にとっても、現在の問題です。病の軽重にかかわらず、本人と家族それぞれが自立して、人生を歩むことは可能です。

今、支援者は、「親あるうちの自立」について真剣に考える必要があります。

### 精神障害者・親亡き後・自立プラン

#### 千葉県精神障害者家族会連合会

親離れ、子離れについて

親はやれることを精一杯行いたい。完璧にはできないかもしれないが、子どもが生きていく道筋を作ろう。

◎衣食住を子どもが自らできるように、父母は身を引こう。

◎子との距離を意識的に広げよう、親が自ら離れるよう。

（一部紹介）

### 本人と家族の回復のポイント

○まずは、本人、家族それぞれのありのままを出発点とすること

○課題に対する新たな対処パターンを見出すために、対話を重ねること





## 白石先生より

最後に、今号発行にあたって白石先生からコメントを頂けたので掲載いたします。

家族の健康は身内が困難を抱えたときにあらわになります。その際、一つにまとまり、素晴らしい力を発揮する家族もいれば、逆に、バラバラになってしまう家族もあります。

私の考えでは、健康な家族とは、困難を抱え、解決の糸口が見通せない時でさえ、協力して生き抜いていく力を持った家族です。

現実には理想的な健康家族は少数かもしれません。でも、そうした家族が多い国こそ、幸せな国のはずですから、みなが目指すべき目標のように思います。

## 法人設立30周年記念イベント告知

長く地域の精神保健福祉に携わる方をお招きし、地域のこと、地域のこれからについてを語るシンポジウムを企画しています。

当法人を利用している皆様への聴き取り結果を参考に、朝霞市、志木市、新座市、和光市それぞれの現状とこれから（未来）について会場の皆様と一緒に考えていきたいと思っています。

お申込みについては9月上旬までに案内をお送りしますのでご確認ください。

日時：2018年9月27日（木）

14:00～16:30（予定）

場所：志木駅徒歩1分

丸井ファミリー志木8階 ふれあいプラザ

## 自己表現コーナー

前号で利用者の方のイラストをご紹介させていただきましたが、今回より自己表現コーナーとして利用者の方々のさまざまな作品を掲載していきたいと思います。今回は詩を書いていたのでご紹介させていただきます。

いつもそこにいるのが当たり前だった私が  
 今ではそこにはいないのが当たり前になった。  
 きっとここでも同じだろう。  
 以前は、そこにはいないのが当たり前になるのを  
 想像するだけで淋しかった。  
 でも慣れた。次も慣れるだろう。  
 皆が私を忘れても、私も皆を忘れても、  
 時に思い出したらふっと笑ってしまうと思う。  
 ふっと笑っていてほしい。  
 そして心が温かくなって、その時いる場所で  
 また当たり前にいる奴として生きていけるんだ。

## 正会員・賛助会員を募集しています

当法人では、運営に協力していただける正会員・賛助会員を募集しています。正会員になると総会議事について議決いただけます。正会員、賛助会員ともに年会費は2,000円となっています。

ご興味のある方はぜひご連絡ください。

いっくいロLIFE第6号は10月ごろ発行予定です、お楽しみに！



発行人 特定非営利活動法人 志木市精神保健福祉をすすめる会

TEL 048-476-8064（志木事業所） FAX 048-476-8079

メールアドレス info@susumerukai.net ホームページURL <http://www.susumerukai.net/>

facebook <https://www.facebook.com/shiki.susumerukai>

